

施策評価管理シート

2019(令和元)年6月作成

施策体系	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	3	市民文化の創造		
	施策	1	文化振興		
				教育委員会事務局	高嶋 正広

1. 計画策定当初(H28)の状況と課題

Plan

- 名張市は多様で豊かな文化資源を有しています。その活用を図り、全国への情報発信や集客などにより、地域の活性化につなげる仕組みづくりが必要です。
- 市民の文化芸術活動は、活発に行われていますが、次世代への継承や関係者の交流を図るための活動の場や、発表の機会を数多く提供していく必要があります。

2. 施策の基本方針

Plan

- 文化遺産や地域資源を市民共有の財産として大切に保護し、次世代に継承します。
- 名張らしさのあふれる魅力ある市民文化を育み、豊かな心と文化の息づくまちを目指します。
- 多様な文化資源を活用して、郷土に誇りと愛着を感じられるふるさとづくりを創造します。

○施策指標(目標)及び達成状況

Plan Do

施策指標(目標)の内容(単位)		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	達成率
市民による自主的な文化芸術活動が活発に行われていることで、身近に文化や芸術に接する機会があると感じている市民の割合(%)	目標	-	-	-	33.0	
	成果	30.9	40.0	44.0	42.7	100.0%
青少年センター、名張藤堂家邸跡、夏見廃寺展示館、郷土資料館の入場利用者数(人【延べ数】)	目標	-	-	-	368,000	
	成果	287,792	328,624	367,771	409,317	100.0%
美術展覧会出展数(点【延べ数】)	目標	-	-	-	2,100	
	成果	1,420	1,831	2,012	2,215	100.0%

3. 課題解決への取組内容及び成果(平成28年度～30年度)

Plan Do

- ・郷土資料館では、常設展示に加え、企画展を6回開催、館外においても小学校や地域へ出張し、名張の歴史や文化等の魅力の発信に努めました。また、この3年間で文化財指定・登録においては、国登録有形文化財(建造物)に3件(8棟)の登録・答申、市指定有形文化財(書籍)に1件指定、市指定無形民俗文化財への指定(1件)に向けての準備が行われました。
- ・能楽のふるさとづくりの推進を図るため観阿弥祭、名張能楽祭、子ども伝統芸能祭り等を開催することで、より一層の能楽振興と次世代への継承などを図るための活動の場の提供に取り組みしました。名張子ども狂言の会は、平成29年度に名張ユネスコ協会にその活動が評価され、【なばりのたからもの】への認定を受け、『名張能楽祭～なばりのたからもの』を開催。先輩方や指導者の茂山七五三先生にご出演いただき、盛大に狂言の会を開催し、広く活動の報告市民に周知を図りました。
- ・市美術展覧会や市民文化祭の開催を通して、芸術文化活動の発表の場の提供や文化に親しむ場を提供し、市民の芸術文化を育みました。平成28年度には名張で初めて『県展』を開催し、過去最高の入場者を得たと評価を受けました。
- ・a d sホールは、吊天井落下防止対策並びに音響設備取替工事を実施し、施設の充実を図りました。

4. 成果を踏まえた課題や現状

Check

- ・文化資源の活用面については、年に複数回若しくは昨年度と今年度等、特に小学校の学級単位との交流が増加しています。反復し学ぶこと、また、学年に応じた内容にするなど、活用回数をもっと効果的な学習を行いたいと考えています。
- ・観阿弥頭彰会の会員が減っており、普及活動を行うとともに能楽振興を図る必要があります。
- ・a d sホールの充実した施設を多くの方にご利用いただくとともに、色々なジャンルの事業を計画し、文化振興の拠点として事業展開を進めています。

5. 課題解決への取組内容(令和元年度)

Action

- ・郷土資料館の来館者は、依然3,000人弱と決して多くはない状況です。市の中型スクールバス2台の活用はもちろんのこと、展示の充実、広報の強化等を継続して行います。
- ・観阿弥頭彰会、美旗のまちづくりや地元と協力し、『観阿弥祭』を開催。能楽のふるさとづくりを推進するとともに、関係者との交流を図ることで、能楽振興と次世代への継承に努めます。また、今年度は観阿弥頭彰会が創立50周年を迎えることから、能楽鑑賞が堪能できる『名張薪能』を開催します。恒例となる『名張子ども伝統芸能祭り』も今年度には10回目を迎え、日頃の練習の成果を披露するとともに、同じように伝統文化に取り組んでいる団体とも交流することで、今後ますます伝統芸能に対する意識の向上を図ります。
- ・『市展』への高校生の出品も年々増えつつあり、作品出品を依頼するとともに、一般の方々の出展も促し、市民の芸術文化を育みます。
- ・a d sホールにおいては、文化活動の発表の場を提供し、芸術文化の拠点として活気ある施設になるよう、文化向上に努めます。

6. 行政評価委員会による総合評価



引き続き、第2次基本計画に掲げる目標達成に向け、取組を進めること。